

このレターでは、特に個人的にSkyDriveをご支援いただいている皆さまに、一般公開していないお話も含め、SkyDriveの近況を福澤の私信的にお送りしていきます。よろしければご覧いただき、ご感想などをいただけますと幸いです。

News

プレオーダー（個人） 千葉功太郎さん



▲国内の個人向け販売第一号として、SkyDriveの株主第1号である千葉さんに機体をプレオーダー頂きました。鎌倉を中心として、飛行されることになりそうです。

プレオーダー（企業） 大豊産業さん



▲eVTOLの気候条件として日本でベストマッチする瀬戸内地方にて、長らく事業を展開されてきた大豊産業さんに機体をプレオーダー頂きました。地域と一体となり、事業を立ち上げていきます。

製造へ向けて工場決定



▲株主であるスズキさんと、空飛ぶクルマの製造に向けて基本合意しました。製造子会社を設立し、静岡県内にあるスズキグループの工場を活用し、2024年春の製造開始を目指します。

『空飛ぶクルマ』2名から3名乗りへ仕様変更

世界最大規模の航空宇宙業界の国際見本市『パリ・エアショー2023』にて、商用機の仕様変更と製品名『SKYDRIVE』を発表しました。世界のeVTOL市場では大きく2パターン、軽量でビルの上からも離発着できるような2人乗り（乗客1名）マルチコプター機か、平地での離発着となり離発着場までが遠くなりがちの5名乗りのティルトローター機だったのですが、『SKYDRIVE』は軽量なまま3人乗りを実現します。本変更は、事業性を考えて昨年からの着手し、弊社が開発した独自のラウンド型ローターフレーム（IP申請中）などが全て目途付き、発表に至りました。eVTOLスタートの上で、グローバルで最も現実性のある機体として、世界に出ていきます！



仏Thalesとサプライヤー契約締結

今回のパリエアショーで、機体全体の制御をつかさどるフライトコントローラ(FCU)について、タレスさんとサプライヤー契約を締結させていただきました。航空機認証ができるFCUサプライヤーは全世界で数社しかおらず、1年ほどに渡る事業・技術交流の末ここまで来ました。運命共同体となる主要部品のサプライヤーさんもほぼ最終確定してまいりまして、開発完了にチーム一丸となって進んでまいります。

